



おづっこ



おもいを伝え合う子 つづける子 つよくしなやかな子 ころあたたかな子

期待を胸に、実りの三月を！

～自らの成長を振り返ろう～

日ごとに春の訪れを感じる季節となりました。いよいよ今年度も最後の一か月です。

この一年、子どもたちは多くのことに挑戦してきました。最初は時間がかかった朝の準備や帰りの準備。苦勞した繰り上がり・繰り下がりや九九。漢字もたくさん書けるようになりました。いさかひの多かった学年集団が、言葉で思いを伝え合うことで、温かい励ましを送れるようになりました。上級生の姿を見て、「次は自分たちがやってみよう！」と熱意を燃やす下級生の姿もありました。先日行われた学習参観でも、おうちの方の前で、できるようになったことをいきいきと発表する様子が見られました。「挑戦して、できるようになった」という経験の積み重ねが、子どもたちの確かな自信へとつながっていきます。

四月からは、ここにいる子どもたち全員、学年が一つ上がります。今のクラスで過ごす残り一か月は、次年度に向けた「心の準備期間」でもあります。学校では「あと〇日！」とカウントダウンしながら、よい締めくくりができるように声を掛け合う子どもたちの姿が見られます。ぜひ、ご家庭でも頑張ったことやできるようになったことを振り返るとともに、もうちょっと努力が必要なことや、引き続き頑張りたいことなどを話し合う時間をもっていただきたいと思います。それぞれの成長を確かめながら、「次はこんなことに挑戦したい」という思いを高める素敵な時間になることを期待しています。



残された時間を大切に、一日一日を丁寧に過ごしましょう。教室の掃除や整理整頓、お世話になった人たちへの感謝、友だちとの仲直りなど、やり残しや心残りがないよう、最高の笑顔で今年度を締めくくりましょう。

(文責：植村)

らくぼーが8歳になりました

小津小学校のオフィシャルキャラクター、幸せを運ぶ妖精「らくぼー」は、2018年2月に誕生しました。きっかけは、岐阜県高山市の山王小学校から届いた「初代高山藩主金森長近が暮らした小津とはどんな所か教えてほしい」という手紙でした。そこで、当時6年生の児童が小津の歴史を調べたところ、織田信長が小津にも「楽市楽座」を導入し、商業を盛んにしていたことがわかったのです。「小津ってすごいな」という思いと、「学校のキャラクターを作りたい」という熱意から生まれたのがらくぼーです。小津小学校では、すすんで皆のためになることをしたときに、らくぼーの缶バッジがもらえます。それが子どもたちにとっての「勲章」にもなっています。らくぼーに応援してもらえるようなよい行いを続けていきたいですね。

